

第4部. 各所属における環境活動目標と達成状況の自己評価

八千代市では環境推進担当者を選任した全部署において、毎年、各業務に関する環境活動目標を設定し、達成に向けた取り組みを実施しています。1年間の各部署での目標及び取り組み、それに対する評価について報告いたします。

○評価基準

A	実施できた	実行率 80 ～ 100 %
B	概ね実施できた	実行率 50 ～ 80 %未満
C	あまり実施できなかった	実行率 20 ～ 50 %未満
D	実施できなかった	実行率 20 %未満
－	判断ができないもの	

総務企画部

所属名	環境目標	目標達成に向けた取り組み	評価
総務課	コピー用紙の削減	◆例年同様、両面印刷等を積極的に行い、他課への払出しは申請簿の記入を徹底する。また、最低限の使用にとどまるよう声掛けをする。	A
	グリーン購入法適合商品の購入を積極的に行う	◆例年同様、消耗品購入時にグリーン購入法適合商品の確認を行う。	A
庁舎総合整備課	庁内委員会のペーパーレス化	◆今年度、庁内委員会を設置し開催するが、その際の資料を電子化することで紙印刷の削減を行う。	A
法務課	会議資料の一部電子化	◆開催する会議を把握し、会議毎に電子化可能な資料について検討・送付する。	B
総合企画課	資料の電子化・印刷部数の低減	◆担当者に両面印刷の資料の作成を促す。 ◆ミスコピーは極力メモとして再利用するよう努める。 ◆資料等の電子化を進め、紙の使用量削減を図る。	B
	配布部数の適正管理・グリーン購入適合品の選択	◆共有フォルダやネットワークを活用し、パソコン上で文書を共有できるようにする。 ◆商品を購入する際、グリーン適合商品の一覧表を同時に使用し、照らし合わせながら商品を購入する。	A
	COOL CHOICEラベルの使用	◆外部に向けて文書やポスターを発信する際には、グリーン購入適合品を使用しているとわかるようにCOOL CHOICEのラベルを貼付するよう、周知を図る。	B
多文化交流センター	照明や暖房の管理	◆口頭やポスターで電力削減を呼びかける。	B
コミュニティ推進課	インターネット（電子申請）での受付の推進	◆市民活動団体支援金交付制度の選択届け出業務において、ポスターへのQRコードの記載や、やちよ情報メール等でインターネットでの届け出を推奨し、紙類の使用量の削減等を図る。	C
	グリーン購入法に適合した商品の購入	◆課で購入する消耗品について、グリーン購入法に適合した商品を購入するよう努める。	A
市民活動サポートセンター	電力使用量の削減	◆暖房・冷房の設定温度の適正化やパソコンの起動・シャットダウン等を適正に行うことにより、電力使用量を抑制する。	B
	グリーン購入法に適合した商品の購入	◆購入する消耗品について、グリーン購入法に適合した商品を購入する。	A
秘書課	市長・副市長のスケジュール管理を徹底し、遅滞なく公務を執行する	◆課員全員で毎日始業前に、その日の市長・副市長のスケジュール及び職員のスケジュール等連絡事項の確認をし、5分前行動を心掛ける。 ◆予定時刻になっても接客などが続く場合には、お声掛けをする。 ◆効率の良いスケジュールを組んで市長・副市長の休みを確保することで健康維持につなげ、体調不良などにより公務に支障を来すことがないようにする。	A

所属名	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
行財政改革推進課	資料を電子化し、印刷部数を抑制する	◆行財政改革推進本部会議・検討会等での資料のペーパーレス化に努める。また文書等を印刷する際は、割付・両面印刷で出力するように呼びかける。	A
	昼食はごみを回収する店を選び、マイカップを持参することで、プラスチックなどの産業廃棄物を削減する	◆プラスチックゴミを削減するため、ごみを回収する店から昼食を購入する。またマイカップの持参を呼びかけ、使い捨てコップ等の使用を抑制する。	A
	グリーン購入法適合商品の購入に努める	◆消耗品等を購入する際、グリーン購入法適合商品から選ぶように心がける。	A
広報広聴課	印刷部数の適正管理	◆平成 29 年度は広報やちよを 1,617,700 部発行する予定のため、在庫数を管理し、適正な印刷部数に調整する。また、配布先及び配布部数の見直しを適宜行い、廃棄量の削減に努める。	B
情報管理課	紙の使用量の削減	◆冊子の作成や、会議資料の作成の際、両面印刷や電子データを活用し紙の使用量の削減に努める。	A
	光熱水費の削減	◆業者との打ち合わせや内部での会議の際、会議室を使用するときに、こまめに電灯や冷暖房のスイッチを切るようにする。	A
戸籍住民課	廃棄する用紙の量を減らし、不要な紙はリサイクルする	◆証明書を発行する際、間違いがないよう確認を徹底し、誤った印刷物を発行しない。 ◆グループウェアの掲載文書の印刷時、本当に必要かの確認を行い不要な印刷を減らす。	B
八千代台支所	電気使用量の削減に努める	◆使用していない電気機器の電源を落とす。 ◆パソコン不使用时スリープモードへ移行する。 ◆冷暖房機と共に扇風機を使用し空気を循環させ、効率的な冷暖房の使用を図る。	C
	支所利用者に向けて、環境推進を啓発する	◆家庭のできるエコアクション 21 を伝えるポスター等を支所内に掲示する。	A
八千代台東南支所	市民への意識啓発	◆市民に向けて、エコアクション 21 環境方針の掲示や、環境保全に関するチラシ配布により情報提供を行う。	B
	エネルギー等の節約	◆電気・水道・ガス等の使用量をなるべく減らすように努め、現状維持を保つ。	B
勝田台支所	エコ活動の啓発	◆環境保全課と連携を取り、環境関連の情報及び節電節水等のポスターを目に入りやすい場所に掲示することで、地域住民に周知を図り、エコ活動の啓発を行う。	A
米本支所	証明書類の誤印刷を減らす	◆証明書類の記載内容の事前確認を確実に行うことにより、誤印刷を減らす。	A
	グリーンカーテンを実施する	◆生ごみをたい肥化した土を使い、ゴーヤ等を栽培し日ざしを抑えるとともに利用者の環境への意識向上を図る。	A
高津支所	用紙類使用量の削減	◆受付時に必要枚数、内容を確認したうえで発行を行い、再発行を防ぐ。	B
村上支所	請求用紙の無駄な使用を減らす	◆市民の行動に気を配り、請求用紙の無駄な書き直しをしないよう注意を促す。	A
	支所利用者への環境推進の啓発	◆支所の目立つ場所にエコアクション 21 環境方針を掲示することで、支所利用者の環境推進意識の向上に努める。	A
睦連絡所	住民票・戸籍・税証明書	◆申請内容を正確に把握し、個人情報重視した上でロス紙がないよう精査し、発行に努める。	A
職員課	時間外勤務の縮減の推進	◆時間外勤務の縮減に関する指針に基づき、ノー残業デーの完全実施を放送等で促す。	A

財務部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
財政課	グリーン購入法適合品の購入に努める	◆職員に周知するとともに、消耗品を購入する際は、グリーン購入法に適合した商品を購入するよう心掛ける。	A
契約課	紙の使用枚数の削減	◆会議等でプロジェクターを使用し、配布資料枚数を削減する。また、業務上作成する書類や資料のうち可能なものは、プリンタの印刷設定を両面印刷や割付印刷に設定し、紙の使用枚数を削減する。	A
	再生資源利用計画（実施）書及び再生資源利用促進計画（実施）書の提出	◆対象工事の受注者より工事担当部署の監督員に提出され、工事検査室は各年度の提出されたデータを集計し翌年度の当初に千葉県へ報告する。 ◆提出については、各工事の特記仕様書に記載されており、各工事の完了検査時に工事担当者である監督員に提出されているかどうかを聞き、未提出が無いよう確認している。	A
資産管理課	エコドライブの推進	◆各車両の燃費（リッター当たりの走行距離）を算出する。 ◆エコドライブの推進を図るための啓発を行う。 ◆経年劣化により、年々燃費が悪化しているため、現状維持を目標とする。	A
	庁舎内の可燃ごみの排出量を削減する	◆毎月の可燃ごみ排出量を集計し把握する。 ◆可燃ごみ削減に向けた啓発を行う。	A
納税課	事務用品などを購入する際にはグリーン購入適合品であるのか確認し、優先して購入する	◆グリーン購入を所属内で徹底する。	A
	公用車の効率的な利用，エコドライブを推進する	◆業務に支障をきたさずに、公用車を効率的に使用できるよう、課内で意見を共有する。 ◆乗車時，お互いにエコドライブができていているのか確認する。	A
	廃棄時の分別を徹底し，リサイクル・再利用に努める	◆ペットボトルキャップのリサイクル等により，資源化を促進していく。 ◆ファイルやボックスなどはなるべく再利用するよう心掛ける。	A
市民税課	窓口・電話対応の迅速化	◆窓口・電話対応の迅速化(目標は5～15分程度)や納税通知の発送の正確さ・わかりやすさによる市民・事業者の問い合わせの減少などに努めることにより，自分の担当している業務に長く携われるようにし残業時間の削減につなげる。	B
資産税課	通知文書の送付に，リサイクル可能な素材グラシンを用いた窓あき封筒を使用する	◆年度を通じて，市税封筒発注時にグラシン窓で発注する。	A
	印刷機のカートリッジや，申請書等を保管・整理するための事務用品にグリーン購入適合商品を用いる。	◆年度を通じて，事務用品の発注時はカタログ等で事前に確認し，可能な限りグリーン適合商品を購入する。	A
債権管理課	会議・説明会資料の印刷部数の低減に努める	◆事前に参加者数や必要な資料を確認し，必要最低限の印刷部数とする。	A

健康福祉部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
健康福祉課	グリーン購入法適合商品の購入に努める	◆消耗品等の物資購入の際には表示を確認する等、グリーン購入法適合商品の購入に努めるよう周知する。	B
	自動車の排出ガスの削減に努める	◆外出の際には、アイドリングストップに努めるとともに、急発進・急ブレーキを回避する。また燃費を把握し、燃費効率の改善に努める。	C
福祉センター	「みんなの福祉センターまつり＋1」の開催	◆開催告知ポスター等を作成し、来館者に働きかける。 ◆まつり当日は来場者にごみの減量・分別を働きかける。	B
	フードバンク事業への協力	◆包装の破損や印字ミス、賞味期限に近づいた等といった理由から、品質には問題がないにもかかわらず廃棄されてしまう食品・食材の活用を行いごみ減量に努める。 ◆施設内に回収場所を設け、上記の食品・食材を集め、必要としている福祉施設・団体等や生活困窮者へ無償で提供している団体に定期的に協力する。団体からの要請で平成 29 年度は 5 月 15 日～6 月 30 日、9 月 11 日～10 月 31 日、1 月 15 日～2 月 28 日に回収窓口として協力予定。	A
	来館者数の増加	◆イベントや講座を企画し、周知する。 ◆掲示板やピクトグラム（絵文字による視覚に働きかける表示）等を活用し、来館者への省エネの呼びかけを徹底する。	A
ふれあいプラザ	ビニール袋、包装用ラップ、お弁当用のプラスチック容器等の廃棄物は燃えるごみとしてごみ箱に捨てられているが、分別回収を徹底する	◆「カン、ペットボトル、ビン」類と「燃えるごみ」のみ分けてごみ箱が設置されているが、「ビニール、プラスチック専用」ごみ箱を加えて分別回収を推進する。まずは率先垂範、スタッフ用の各所に設置し徹底する。	B
	プール室の省エネの推進	◆プール水循環ろ過機逆洗回数を減らし水道使用量を削減。 ◆プール室内照明点灯時間短縮による電気使用量の削減。	A
市営霊園	自動車の排出ガスの削減に努める	◆事務の効率を高めて、自動車の使用回数を極力抑えるようにする。	A
	電気使用量の削減に努める	◆照明、冷暖房の管理を徹底する。	A
	一般廃棄物焼却量の削減に努める	◆草刈り後の草や参拝客が捨てた花は極力乾燥させて重量を減らすなど廃棄物の量を抑えるようにする。	C
生活支援課	紙資源の使用量削減	◆掲示板の記事・グループウェアメールについて、データをシステムの方にも移して情報共有することによりペーパーレス化・印刷枚数の削減を図る。 ◆メール約 1,300 件×3 枚、掲示板約 250 件×5 枚の 5,150 枚を削減する。	A
	ノー残業デーの推進	◇ノー残業デーを推進し、職員の心身の健康の維持と電気使用量の削減を図る。 ◆毎週火・木曜日のノー残業デーの際に呼びかけをし、早期退庁に努める。 ◆スケジュール管理をし、時間内に終わらない場合は分担できるものについて相互協力する。	B
	温室効果ガス（二酸化炭素等）の排出削減	◇スマートムーブの推進 ◆市役所近隣地区への訪問調査・病状調査であれば、公用車ではなく自転車等を利用する。 ◆公用車使用時はエコドライブを、また予算の範囲で公共交通機関を使用する。	A
長寿支援課	エコドライブの徹底	◆業務が増えているため、ガソリン量を減らすことは難しいが、アイドリングストップ等を行うことで、燃費を良くするように心掛ける。	B
障害者支援課	公用車の使用削減	◆近場に行くときは極力自転車等を使い、公用車を使用する時は、計画的・効率的に行う。	C
	資料作成の際の用紙削減	◆印刷ミスを避けるため、印刷する前に一呼吸置き、印刷画面を確認した上で印刷する。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
八千代市 第1・2・3 福祉作業所	マイバッグの活用	◆買物に行った際、店舗に備え付けの段ボールを使用したりマイバッグを活用したりしてごみ（ビニール袋）の減少に努める。	A
	エアコンの適切な温度設定を心掛ける	◆エアコンの設定温度（夏場）を27度にする。 ※但し、猛暑日等はこの限りではない。	B
	禁煙の推進	◆たばこの煙が環境汚染に繋がる旨を理解して頂き、改善に努める。	B
障害者福祉 センター	掲示物等により、節水や節電を呼び掛ける	◆掲示物等により施設利用者に対し、空調温度の適正化、節水及び節電を呼びかける。	A
児童発達支援 センター	実績記録の電子化	◆紙媒体で行っていた記録を、電子化することで業務の効率化を図る。またミス減らすことで印刷数の減少を目指す。	A
	施設内や家庭内で出た廃材を使用しておもちゃや遊びに利用する	◆施設・家庭内で出た空のペットボトル等再利用できるものを使って、遊びに取り入れていく。	A
	公用車燃料の削減	◆公用車内の冷暖房の使用頻度を意識していく。また、乗合をすることで利用頻度を少なくしていく。	C
健康づくり課	たばこの健康への影響についての周知・啓発	◆園児本人及び保護者に対してたばこに関する意識や認識を深めてもらうために、紙芝居の読み聞かせやパンフレットの配布等の実施を市内保育園や幼稚園、認定こども園に依頼し、喫煙防止教育を実施してもらう。また、広報やちよ、ホームページ、やちよ健康情報メール、チラシ等を活用し、たばこの健康への影響や禁煙の治療・相談に関する情報を周知する。	A
国保年金課	コピー枚数を最小限度に抑える	◆年間を通し、縮小コピーや両面印刷による紙面の活用、印刷コストの意識定着化、会議や研修での最小限度の資料作成を図る。	D

子ども部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
子育て支援課	廃棄物処理の確認	◆印刷ミスを避けるため、印刷する前に一呼吸置き、印刷画面を確認した上で印刷する。	A
	待機児童の解消	◆八千代市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子ども・子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に実施する。	D
ゆりのき台 保育園	施設内の照明器具・冷暖房器具や水資源の節約など無駄のない使用方法を心掛ける	◆施設内で、効果的な照明の使用・室内温度設定、無駄な水の使い方につけるよう呼び掛け、共通理解の元で、日々各自が気を付けるようにする。	B
	グリーン購入を普及啓発し、導入を推進する	◆コピー用紙は、グリーン購入適合商品を購入する。 ◆文房具や蛍光灯などもグリーン購入対象商品表と照らし合わせて適合商品の購入に努める。	B
	廃棄される用紙類の減量を図る。	◆コピー、印刷用紙は両面印刷、裏紙使用、短縮機能を利用していく。	B
八千代台 保育園	節電、節水を心掛ける	◆日常的に節電・節水について、子ども達にも指導し、関心を高めていく。 ◆一年を通し、自然光を活かし、時間帯や天候、園庭に出る際には消灯をこまめに実施する。 ◆季節により、冷暖房器具の必要に応じた使い方を職員で周知し実施していく。	B
	印刷枚数の軽減や紙の再生を心掛ける	◆印刷ミスなどをなるべくなくすよう注意して行くと共に、広告などの裏面を利用するなど、心掛けていく。 ◆印刷は必要な枚数に応じてコピー機と印刷機を使い分けていく。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
米本南保育園	節電・節水・こまめな温度調節	<ul style="list-style-type: none"> ◆気温に応じて冷暖房機の温度調節をこまめに行う。 ◆前年度と比較し、前年度並みあるいはそれ以下になるよう努める。 	A
	分別・縮小化	<ul style="list-style-type: none"> ◆排出されたごみは潰し、縮小化に努める。 ◆日々の保育の中でごみの分別や縮小化を話題にし啓蒙していくとともに、廃棄物を利用したおもちゃ作りを知らせる。 	A
八千代台西保育園	節電・節水・ガス節約に努める	<ul style="list-style-type: none"> ◆日常的に職員同士が声を掛け合い、節電、節水・ガス節約を常に心掛ける。また、子ども達にも節電・節水・ガス節約について啓蒙し、関心を高め無駄を削減する。 	A
	印刷枚数の軽減やインクの節約に努める	<ul style="list-style-type: none"> ◆必要枚数を確認し、まとめて印刷する等インクや紙の節約に努める。 ◆支障の無いものについては裏面を利用し無駄の無いようにする。 	A
	ごみを分別し減量に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ごみが分別しやすいようごみ箱を設置し、リサイクルできるものはする。子どもたちにも、ポスターを貼るなどしてごみの軽減を啓蒙していく。 	A
高津南保育園	設備管理、節電、節水などエコに努める	<ul style="list-style-type: none"> ◆節電を心掛け、エアコンの設定温度を守るようにし、こまめにチェックする。 	A
	落ち葉対策	<ul style="list-style-type: none"> ◆桜の落ち葉を集め堆肥作りを行い、花壇や畑の肥料として使う。 ◆落ち葉から肥料が作られることを子どもたちに知らせ、エコについて学んでいく。 	A
八千代台南保育園	エネルギー(水道・ガス・電気)の節約	<ul style="list-style-type: none"> ◆使用していない時や日差し、明るさに合わせてこまめに電気や扇風機を止めていく。 ◆エアコンと扇風機を併用し、温度調節を行う。エアコンのフィルター掃除をこまめに行う。 ◆待機電力を減らしていく(長時間使用しないものはコンセントを抜く、電源を切る等)。 ◆手洗いの指導で適量を知らせ、蛇口をしっかりと閉めるよう声を掛けていく。また、トイレの流水などの指導も行っていく。 ◆洗い物などで水を使用する際、出しっぱなしにせず、水桶などに溜めて使用する。 ◆予洗いを徹底し、適切な洗剤量、水の節約に努める。 	A
	資源の節約	<ul style="list-style-type: none"> ◆裏紙の利用、両面印刷、プリンタの使用法の工夫を行う。 ◆お絵描き等で使用する紙は、カレンダーの裏紙などを利用していく。 ◆食事時のごみ入れに広告用紙等で作ったごみ箱を使用していく。 ◆スポンジがへたってきたら、すぐ捨てずに清掃等に使用する。 ◆職員が目を通す書類を回覧にしたり、朝礼などを使い口頭で伝えられることは紙媒体を使用せずペーパーレスに取り組む。 ◆食事では残飯量を減らしていけるよう、食べられる分量を取るようにし、好き嫌いを減らしていけるよう指導を行う。 ◆調理時はごみを少なくできるよう工夫していく。 ◆廃油は処理業者に回収してもらい、再生利用に生かす。 	A
	室温の温度上昇を防ぐ工夫	<ul style="list-style-type: none"> ◆カーテン、よしず等の日よけを使用し、風通りをよくしていく。 ◆エアコンの温度設定を適切に行い、扇風機などを併用していく。 ◆プール実施日はプールの水を使用し、花の水やりや園庭への水撒きを行い、気温の上昇を防ぐ。 	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
村上北保育園	電気・ガス・水道の節約に努める	◆日常的に節電、節水に努め、子ども達にも節電、節水の大切さを知らせていく。 ◆職員の共通認識を持って取り組むようにする。 ◆エアコンの設定温度に気を付ける。 ◆日よけなどを利用し、室内の温度が上がらないようにする。	A
	ごみや紙の廃棄物を減らす。	◆ごみを小さくする、牛乳パックをつぶすなど、職員も意識すると同様に子ども達にも意識するように話していく。 ◆印刷物を必要数に合わせ、両面印刷や裏紙を使用するなど紙の減量に努める。	A
	会議時間を減らす	◆会議内容を事前に知らせ、発表内容を精査し、時間の短縮を図る。 ◆夕方に行っていた会議を日中に行える場合は、できるだけ日中に行うようにする。	A
	自然体験を行う	◆野菜の栽培や収穫・植物の生長観察や散歩などを通して自然体験を多く持てるようにしていく。	A
	環境学習	◆廃材や空き容器などを利用し、子ども達と一緒に手作りおもちゃを作るなど環境学習を行う。	A
睦北保育園	園児に自然体験を行う	◆野菜の栽培・収穫・植物の生長観察、小動物の世話、散歩などを通して自然に触れる体験を多く持てるようにする。	A
	節電・節水に努める	◆夏の時期、日差しの強い所に琉球アサガオ、フウセンカズラを栽培し、省エネを図る。 ◆子ども達に節電・節水について指導し関心を高めていく。 ◆年間を通して自然光を生かし、時間帯や天候、園庭に出る際など消灯をこまめに行う。	B
子ども支援センター すてっぷ 21 勝田台	リーフレットや資料等の配布部数の適正管理をする。また、グリーン購入適合品の選択をする。	◆会議や研修等の資料の節約や電子化を図る。また、施設のリーフレットや関連資料の節約を図る。	A
	照明や冷暖房器具の管理を徹底し、節約に努める	◆照明器具、冷暖房器具の点検や清掃をして節約に努める。また、利用者への節電、節約の周知を徹底する。	B
子ども支援センター すてっぷ 21 大和田	施設の節水、節電の使用量削減に努める	◆節水、節電の職員間の意識向上を図り、使用量削減に努めていく。	A
高津児童会館	光熱水費節約の徹底	◆平成 27 年度と比較して平成 28 年度は全体的に使用量を削減することができたので、今年度の使用量が前年を超えないよう引続き光熱水費節約の徹底をするため、施設に節約を促す掲示を行う。	A
村上児童会館			A
米本児童会館			A
子ども福祉課	業務効率化・短縮化を図り、電力使用量の削減につなげる	◆八千代市ホームページ上で申請手続き等の案内を行い、電話による問い合わせを減少させるなど、業務の効率化や時間外業務の短縮化を図り、電力使用量の削減につなげる。	A
	通知文書等の再生紙化	◆大量発送する通知文書等を再生紙化ができるか検討する。	B
母子保健課	予防接種モバイルの登録勧奨することで予防接種の間違いや基本的な接種の進め方の問い合わせを減少させる	◆予防接種予診票配布時に周知のチラシを同封し、乳児相談事業において登録の勧奨をする。	A
	産科医療機関から妊娠届出書用の紙を渡してもらうことで窓口業務が迅速にできるようにする		A
	印刷物の余剰を減らし廃棄物を減少させる		C

生涯学習部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
生涯学習振興課	まちづくりふれあい講座	◆まちづくりふれあい講座の周知を積極的に行い、年度末までに前年度の開催数を上回るようにする。	A
総合生涯学習プラザ	省エネルギー型の施設を目指し、事業者に省エネルギーを促進する	◆維持管理・運営総括責任者を中心に構成された環境対策専門部会において立案した省エネ計画や活動内容を確認する。	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
八千代台 東南公民館	主催講座で環境に関する講座を開催する	◆高齢者・親子を対象に、植物に触れ合いながら、環境への意識向上を図る講座を実施する。	A
大和田公民館	環境に関連する主催講座の実施	◆今年度中に環境関連の講座 1 講座は実施する。	A
	舞台、案内用看板等、再利用をする。	◆公民館祭り等で使用する、舞台、案内用看板などを再利用する。	A
阿蘇公民館	主催講座で廃材を利用したおもちゃづくりをする	◆児童を対象に、空き箱やペットボトルのキャップを利用したおもちゃづくりをし、環境学習を推進する。	A
高津公民館	高津地区小学生向けの夏休み主催講座配布用チラシの作成枚数の削減		A
勝田台公民館	主催事業として、環境保全意識の向上を図るため、環境体験講座を開催する	◆昨年度までは、机上を中心とした内容であったため、受講者が少なかったこともあり、今年度はフィールドワークを取り入れたものとして、受講者の増加を図るとともに、より実践的な学習により、知識の定着化を目指したい。	B
八千代台 公民館	公用車の使用を計画的に行い、走行距離を極力抑える	◆職員同士で公用車を使用する事務連絡を共有して、公用車の使用を計画的に行い、できる限り公用車の使用回数を減らす。また、給油の際はタイヤの空気圧を適性にしてもらい、燃費の向上を図る。	A
村上公民館	グリーンカーテンを作り、施設での効果を感じて貰い、普及・推進を図る	◆施設内にゴーヤの苗を5月に植え、グリーンカーテンを作成する。 ◆施設での効果を実際に感じて貰い、推進・普及を図る。	B
	エコドライブ 公用車の使用頻度の軽減	◆エコドライブを心掛け、事務連絡は回数をまとめる。	C
睦公民館	紙ごみの資源ごみ処理	◆公民館に送られてくる、チラシ、パンフレット等の周知が終了したものは、資源ごみとして分類して処分し、燃えるごみとして極力出さないようにする。	A
緑が丘公民館	節電・節水について、利用者への周知徹底	◆施設内に冷暖房使用等節電や節水に関するチラシの掲示を行い、利用者に対して環境について意識啓発を促すよう検討する。	A
	エコドライブ・使用頻度の軽減	◆公用車の使用については、エコドライブと使用頻度の軽減を徹底する。	C
	印刷部数の低減、グリーン購入適合品の選択	◆主催講座等で作成する資料等を必要最低限にし、グリーン購入適合品を購入する。	A
八千代台東南 公共センター	施設利用者への節電・節水の啓発	◆施設内に節電や節水に関するポスターの掲示を行い、施設利用の際に節電・節水に協力していただくとともに、市民の環境への意識向上を図る。	B
T R C 中央図書館	印刷部数の低減や用紙のグリーン購入適合品の選択購入に努める		A
	照明や空調などの適切な管理を行い、節減に努める		B
	公用車の適切な管理を行い、節減に努める		A
	図書資料のリサイクル	◆図書館で不要になった本などを6月30日までにブックリサイクルフェアを実施し廃棄物削減に努める。	A
	エコ活動の情報発信	◆図書館の展示コーナーを利用し、エコや節電、環境について利用者に対して情報発信を行う。	A
	エコアクション21活動の推進	◆エコアクション21に係る環境活動について、全体ミーティングを通じて従業員に浸透を図る。	A
大和田図書館	廃棄する図書館の資料を削減する。	◆図書館で不要になった本は市民の方へリサイクル本として提供する。 ◆破損した本はすぐに廃棄するのではなく、できる限り修理して利用する。	A
	施設内の冷暖房設定、照明設備の適正な使用に努める	◆冷房28℃、暖房は20℃設定にする。また窓を開けて自然風や扇風機を利用する。 ◆階段や廊下など、日中照明を使用しなくとも十分な明るさがある場所については、夕方、悪天候時等の必要になる時間帯に限り使用する。	D

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
八千代台 図書館	廃棄する図書館資料を削減する	◆破損した資料をすぐには廃棄せずに、できる限り修理して利用する。 ◆図書館で不用と認めた資料を市民に提供する「リサイクル文庫」を設置し、資料が再利用される機会を作る。	A
	図書館施設の照明や冷暖房を適正に管理する	◆使用していない電気機器の電源を落とす。 ◆冷暖房の温度設定を冷房は 28℃、暖房は 20℃に設定する。	C
	地球温暖化や省エネに対する図書館利用者の意識が向上するように働きかける	◆環境や省エネなどに関する図書の展示を行う。	A
勝田台図書館	受入れを行わない寄贈資料や汚破損等で除籍となる資料の廃棄を減らす	◆できるだけごみとしての廃棄ではなく、市で開催されるリサイクルブックフェアやリサイクル文庫を活用し、再利用されるよう努める。	A
	施設内の電気使用量、水道使用量を削減する	◆館内に節水や節電を呼びかけるポスターを掲示する。	B
	イベント等開催時に作成するチラシの量を適正管理する	◆一度に大量に刷るのではなく、状況を見ながら、適正な部数管理を行う。 ◆配布物だけではなく、ホームページや館内外のポスター、広報誌等での告知を行う。	A
緑が丘図書館	図書の展示と貸出	◆年度内に 2 回、図書館内で環境意識向上の図書展示を行う。	A
	電気等の施設管理	◆エアコン温度設定の館内での表示を明確にし、市民の理解を得る。また、照明設備の間引きを行い、不要な電気の使用を避ける。	A
文化・スポーツ課	書類や電子データの見直し、二重保存の整理や不必要な記録の除外をより一層し、業務の効率化とペーパーレス化をさらに図る	◆職員や業務に関わる者に活動目標の周知を図り、業務の効率化と環境への意識向上を追求する。	B
	市役所へ事務連絡等で外出する際、公用車の使用頻度を控えるよう努める	◆本庁への移動の際には乗合や自転車の利用を推奨し、公用車の使用頻度の削減を図る。	A
文化伝承館	リサイクルや資源の再利用についての啓発	◆親子向けの講座で、竹などの再利用による物づくりにより、リサイクルや資源の活用を推進し啓発していく。	B
	グリーンカーテンや打ち水などの実施	◆夏にグリーンカーテンの設置や井戸水を使用した打ち水を実施し、施設利用者への地球温暖化防止の啓発と省エネルギーに努める。	B
市民会館	電気使用量の削減（前年比 1%減）	◆利用者が不快と感じない程度に、電気使用量の削減に取り組む。	C
八千代台文化センター	一般廃棄物の抑制	◆利用者へごみの持ち帰りを徹底するよう働きかける。	B
勝田台文化センター	ガス使用量の削減（前年比 1%減）	◆利用者が不快と感じない程度に、ガス使用量の削減に取り組む。	D
市民体育館	電気使用量の削減（前年比 1%減）	◆利用者が不快と感じない程度に、電気使用量の削減に取り組む。	B
総合グラウンド	一般廃棄物の削減（前年比 1%減）	◆利用者へごみの持ち帰りを周知し、一般廃棄物の減量に取り組む。	C
勝田台中央公園小体育館	清掃に伴う汚水排出を年間 100ℓ 以下とする	◆毎月の洗浄液の使用量目標を 8ℓ 以下とする。	A
上高野多目的グラウンド	一般廃棄物の抑制	◆利用者へごみの持ち帰りを徹底するよう働きかける。	B
八千代台近隣公園小体育館	電気使用量の削減（前年比 1%減）	◆利用者が不快と感じない程度に、電気使用量の削減に取り組む。	C
オーエンス八千代市民ギャラリー	リサイクルの推進による一般廃棄物の減量	◆年間を通じて開催する各種教室・講座のうち使用済みの材料を活用した教室・講座を開催し、一般廃棄物の減量化に努める。	A
	「省エネルギー」の推進(電力・都市ガス・水道)		D

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
青少年課	開催に必要な事務用品	◆成人式に必要なとなる事務用備品について、購入をする際にグリーン購入対象のものを意識して購入する。	B
「ガキ大将の森」キャンプ場	水道使用量	◆平成 28 年度の水道利用量を維持するため、利用者及び管理補助委託者に呼び掛けを行う。	C
男女共同参画課	職員意識調査報告書を必要部数のみ印刷し、過剰な在庫を抱えない	◆報告書の印刷数を抑えて、データでの周知に努める。	A
	女性管理職ネットワーク会議をエコな会議にできないか検討する	◆情報提供や意見交換等をメールで行うことで、エコな会議にできないか検討する。	A
男女共同参画センター	施設利用者の状況に合わせて、こまめに消灯したり空調を調節したりする。		A

安全環境部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
生活安全課	交通安全教育啓発事業において、環境に配慮した広報による啓発に努める	◆市内の高校 1 年生に年 3 回配布していた交通安全だよりの発行回数を、昨年度は年 1 回に減らし、市内高校の全クラスに啓発チラシを 2 回配布することで紙の使用量を削減したが、今年度は、交通安全だよりや啓発チラシの定期的な配布を止めて、啓発する必要がある場合に配布するようにし、紙の使用量を削減する。	A
消費生活センター	一般家庭で不用になった生活用品情報を市民に提供し、資源の有効活用を図る	◆広報やちよ・市ホームページ・リサイクル情報コーナーを有効活用し、より多くの市民に周知できるよう啓発の強化に取り組む。	A
総合防災課	備蓄食料の廃棄量削減	◆災害に備え備蓄されている食料のうち、賞味期限間近のものについては、防災訓練での使用やフードバンクへ提供することで有効活用を図り、廃棄される食料を減らす。	A
環境保全課	他課と連携して、ごみの分別収集を推進することにより、一般廃棄物処分量を削減し、温室効果ガス（二酸化炭素）総排出量の削減につなげる	◆資産管理課やクリーン推進課と連携して、一般廃棄物の分別の周知をし、職員の廃棄物に対する意識の向上を図る。 ◆今年度は、資源となる紙類の分別・分類（古紙回収の対象）について、改めて周知を行い、一般廃棄物処分量の削減及び温室効果ガス（二酸化炭素）総排出量の削減につなげる。	B
	公害防止対策の啓発に努める	◆公害防止対策に関心、意識を持ってもらうため、各種イベントの実施や広報等による周知・パンフレットの配布による啓発活動を実施する。	A
	地下水汚染地区における汚染除去対策を実施することにより、地質環境の改善に努める	◆湧水浄化施設、宙水浄化施設及び活性炭ろ過装置による地下水汚染の浄化対策を継続する。併せて、その効果をモニタリングする。	A
クリーン推進課	市民一人一日当たりのごみの排出量を減らす	◆自治会や小学校等での、ごみ減量学習会や出前講座の随時開催、広報、市ホームページ等の啓発、事業者への減量協力依頼等でごみの減量を図る。 ◆指定ごみ袋制度等のごみ処理の有料化や、生ごみたい肥化容器等購入の助成を継続する。	A
衛生センター	老朽化した設備の補修・更新を行い、適正処理ができるよう努める	◆設備の補修・更新箇所等を把握し、早期の対策を行う。	A
	薬品類の管理把握を行う	◆現場での薬品類の点検を行う。 ◆漏洩事故を想定した訓練を行う。	A
清掃センター	不燃ごみや粗大ごみから発生する、廃棄物の再資源化を行う	◆平成 28 年 10 月から搬入された廃棄物を、国の認定を受けている小型家電リサイクルの認定業者に小型家電(特定品目)を売却することで、より精度の高い再資源化を行っている。平成 29 年度は資源化率を維持することを目標とする。	A

都市整備部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
都市計画課	公共交通の利用促進が図られるようイベント等の啓発活動を行う	◆公共交通の利用が図られるよう、イベント時に啓発する。	A
建築指導課	建築物省エネ法の省エネ基準に適合するように指導・助言	◆延床面積 300 ㎡以上の建築物を新築等する際、「建築物のエネルギーの消費性能の向上に関する法律」に基づく届け出が必要になる。届け出された建築物が、省エネルギー基準を満たすよう指導、助言をする。	A
都市整備課	土地区画整理事業地内の緑化	◆土地区画整理事業によって設けなければならない公園面積は、3 %以上とされている。西八千代北部地区においては、4.7%を確保しているものの、環境アセスの千葉県知事の意見を踏まえ、地区内の緑化に努める。	A
公園緑地課	日常管理やアダプト団体への支援による自然保護意識の向上、生物多様性の保護を図る。	◆年間を通じて公園の景観の維持、アダプト活動に必要な用具の提供を行う。	A
	市民が緑豊かな街と感じられるよう、緑化協定の推進や都市公園面積の増加を図る	◆開発等の事業者に対して、開発行為等の協議や建築物等の新築及び立替時における確認があった際に協力を求めている。	A
土木管理課	エコドライブを徹底する	◆走行距離は業務量に影響を受けるものではあるがアイドリングストップを徹底し、走行ルートを最短もしくは効率的なものにすることで走行距離を抑えて排気ガスの排出量を減らす。	A
	土木工事発注の際、再生品の材料を使用する	◆工事発注の際、再利用の観点から工事の設計書に再生品の材料の使用を徹底していく。	A
土木建設課	土木工事発注の際、再生品を使用する	◆工事の設計書に再生品を使用するよう明記する。	A
	工事機械は低公害のものを使用する	◆低公害の機械を使用して施行するように工事の設計を行う。	A
	雨水を地下に浸透させ雨水流出量の抑制、地下水の涵養に努める	◆建物の新築・増改築の際、雨水浸透桝等の設置について協力を依頼する。また、市道の歩道新設・補修の際、浸透舗装の採用に努める。	A
土木維持課	管理施設の照明灯のLED化	◆照明灯の修繕時期に合わせてLED化を図る。	A

産業活力部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
産業政策課	ごみの減量	◆ごみの減量について、主催団体に働きかける。	B
	配布部数の適正な管理	◆公共施設に配布する産業のしおりについて、必要最低限の部数とし、データをホームページに掲載することで印刷の量を減らす。	A
農政課	地球環境保全を目的とした、化学肥料・化学合成農薬を低減する「環境保全型農業」の推進を農業者に周知し、現在の取組面積 222a から 400a へ拡大をする。	◆農家に周知をすることで、「環境保全型農業」の取組面積を 222a から 400a へ拡大する。	B
	例年 5 件前後ある臭気に対する苦情について、畜産農家の方に家畜の糞尿処理について周知を徹底し、適切な処理をすることを促すことで、市民からの苦情を 0 件にする。	◆千葉農業事務所等の関係機関と協力し、適切な処理を広く周知及び指導をし、市民からの苦情を 0 件にする。	D
やちよ農業交流センター	イベント・講座等を開催する	◆電子機器の丁寧な取り扱いを原則としているが、老朽化、経年劣化等により使用不能となったものを、その都度メーカーに無償引き取りを依頼する。	C

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
ふるさと ステーション	不要となった電子機器及び付属品の廃棄	◆電子機器の丁寧な取り扱いを原則としているが、老朽化、経年劣化等により使用不能となったものを、その都度メーカーに無償引き取りを依頼する。	A
	グリーンカーテン	◆日除け用に「ゴーヤ」等のグリーンカーテンを施す。	A
商工課	商店会等が行うイベントにおけるごみの排出抑制を主催者に働きかける。	◆商店会等にイベントに対する補助金交付決定通知する際に資源とごみの分別の徹底を依頼し、排出量の抑制に努力してもらう。	A
	課の職員の時間外勤務時間を削減することにより、電気消費量を減らしてCO ₂ 削減に貢献する。	◆事務の効率化を進め、事務量の配分等考慮し、課員一人一人の時間外勤務時間を削減する。	A
	4 商店会団体に補助金を交付し街路灯をLED灯に改修することによって、電気消費量を減らしCO ₂ 削減等環境負荷を低減する。	◆今年度市の補助金を交付し、県からの補助金も利用して街路灯のLED灯への改修を行う予定の4 商店会の工事を完了する。それにより消費電力の削減と、電球の長寿命化が見込まれる。	B

会計課・委員会事務局等

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
会計課	八千代市グリーン購入基本方針に基づき消耗品の購入を行う	◆年間を通じ消耗品購入の際はカタログやインターネット等で事前にグリーン購法適合品か確認してから購入する。	A
議会事務局	グリーン購入適合品の選択	◆購入前にグリーン購入の適合品であることを確認する。	A
	会派内での資源ごみの分別を徹底する	◆ゴミの分別について議員に周知徹底を図るとともに、分別がなされているかチェックを行うようにする。	A
選挙管理 委員会事務局	紙類の使用量の削減	◆事前に必要部数を確認の上、余分な部数の作成を極力少なくする。また、両面で良いものは両面印刷とする。必要に応じてグループウェア、ホームページへの掲載で対応する。	B
監査委員 事務局	グリーン購入適合品の選択、購入	◆消耗品等の購入において、グリーン購入適合品を選択する。	A
農業委員会 事務局	会議（総会）時間の縮減に努める	◆年間で12 回開催する総会の会議時間を18 時間に縮減（1 回につき約3 分縮減）できるように委員・事務局員一人一人が心掛けるように努める。	C

教育委員会

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
教育総務課	教育総務課所管の事務連絡車の走行距離を低減させる	◆近距離は、原則徒歩か自転車で行くよう呼び掛ける。	A
郷土博物館	八千代市の自然環境についての理解を深めるため、環境に関連した事業を行う	◆植物標本づくり講座、自然観察会や昆虫観察会を開催する。	A
大和田小学校	教室から出るごみを減らそうとする取り組み	◆教室から出されるごみについて、学期始めに各クラスで考えて、何を減らせれば良いのかを学級会で話し合いめあてを決める。	B
	地域ゴミゼロ運動への参加	◆大和田地区において、小学生が参加する地域ゴミゼロ運動が企画されていないため、現在は実施していないので、本校児童が参加できるような運動を立ち上げていきたい。	D
睦小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します	◆子どもサミットの活動を通し、近隣中学校と連携して環境教育に取り組む。地域清掃を行い、児童が環境について考える機会を設ける。 ◆各教科の学習の中で、環境についての知識・理解を深める。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
阿蘇小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討 小中学校での環境教育の実施を検討します	①5月、9月、12月にPTAや地域の方々の協力を得ながら古紙やアルミ缶等の資源回収を行う。 ②4月に田植え、9月に稲刈りなどPTAや地域の方々の協力を得ながら「コメ作り体験活動」を実施する。 ③年間を通して「募キャップ」活動を行う。 ④6月に地域の協力を得ながら「里山体験活動」を実施する。	A
八千代台 小学校	社会科や総合的な学習において、環境学習に取り組む	◆授業の中で、現状を把握するとともに、自分達にできることはどのようなことがあるのかを考えさせる。	A
	電気、ガス、水道代の節約に努める	◆一人一人が「節約」を意識できるように、管理職が常に声掛けをする。また、具体的な数値で示していく。	B
八千代台東 小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討	◆社会科や総合的な学習等の授業の中で環境についての知識を深めさせる。	B
八千代台西 小学校	環境教育、環境学習の視点を取り入れた授業づくりの更なる推進	◆3年生以上の、教科で環境を扱う単元については総合的な学習への発展について模索し、可能な限り行動化へとしていけるように心掛ける。 ◆1、2年生については、生活科の学習の中での自然とのふれあいを意識させ、行動化へと発展させていく。	A
	環境教育、環境学習の視点を取り入れた日常的な実践活動への意欲付けと取り組みの更なる推進	◆児童会活動や委員会活動を機に、リサイクル運動・活動を全校的に広めていく。 (ポスターや放送での呼び掛け、進捗状況や結果について随時知らせていく。)	A
勝田台小学校	学校教育活動での環境学習の実施	◆各学年の年間指導計画に基づき、実施教科や実施時期を決める。 ◆計画に基づき、環境教育に関する授業を実施する。	B
	学校施設から出るごみの総量を減少する	◆学級から排出される紙ごみをリサイクルに回しごみを減量する。 ◆落ち葉を腐葉土にし、学校園に肥料や土として再利用する。	B
勝田台南 小学校	資料電子化により印刷使用紙の削減		A
米本小学校	資料の電子化 印刷部数の低減	◎ペーパーレス化 ◆書類や資料など紙で作成・管理していたものを、コンピュータ上で管理することにより、紙の使用を減らすとともにコスト削減につなげる。 ◆業務でよく活用する資料を電子化することで、その業務の効率化を図る。	A
	照明や水の管理・点検清掃・利用者への周知・徹底	◆全校で節電・節水など省エネ活動に取り組む。 ◆校内を巡回して、児童・教師不在の教室や廊下・階段、トイレなどの電気をこまめに消す。	A
米本南小学校	美化活動の推進	◆5月9日除草作業、10月28日校内美化活動、1月31日校内美化活動ー以上の取り組みを年間計画に位置付け、保護者及び地域住民へ案内文を配布し、協力の要請をする。	A
	環境学習・環境教育の推進	◆下学年ー自然と親しむ体験的な学習を推進する。 ◆中学年ー節水やごみの減量化等について考える態度を育成する。 ◆上学年ー環境問題について、主体的に解決しようとする態度を育成する。 ◆校内環境を美しく整える工夫をする(清掃強調習慣、無言清掃等)。 ◆緑のカーテンの効果を検証する。	A
大和田南 小学校	印刷部数の低減	◆声かけ、注意書きなどで呼び掛け、使用量を知らせ、全職員の意識を高める。	A
	照明使用の管理	◆使用していない教室やトイレ、廊下などの電気をこまめに消すことを、職員のみならず児童にも声を掛ける。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
高津小学校	各教科・領域において環境学習を進める	<p>◆1年生：生き物（昆虫など）に触れ、生き物が育つ環境を整備する学習を行う。</p> <p>◆2年生：昆虫を卵から育て、卵を産むまでの活動を通し、餌の環境が変わることなど自然を大切に学習を行う。</p> <p>◆3年生：ハウセンカ・マリーゴールド、夏野菜を育て植物も命の循環があることを学び、植物も温度や季節（環境）に応じて成長することを学ぶ学習を行う。</p> <p>◆4年生：ゴミの収集についての学習を行い、3Rを知りリサイクルポスターなどを作成する。</p> <p>◆5年生：世界文化遺産である富士山の教材を扱い、遺産に認定に至るまでの紆余曲折を学習し、意見文を書く。</p> <p>◆6年生：防災をテーマに学習する中で、古紙の再利用の仕方や缶詰の油の利用の仕方などを体験し、限られた資源をいかに大切にするか体験を通して学ぶ。</p>	A
南高津小学校	環境学習・環境教育の実施	<p>◆学習指導要領に基づき、本校教育課程の中で、環境教育をどのように実践していくか検討する。</p> <p>◆年間計画の作成及び、見直しをする。</p>	B
西高津小学校	環境学習や委員会活動を通して、児童の意識を高める	<p>年間を通して</p> <p>（１）廃棄物・リサイクルに関する活動</p> <p>①常時回収箱を設置し、アルミ缶、ペットボトルキャップ、牛乳パックを回収する。</p> <p>②7月に地域のクリーン作戦（学区内美化活動）を実施する。</p> <p>③牛乳パックやペットボトル、アルミ缶、トレーなどの廃材を使って工作を行い、資源の大切さ、環境を守る大切さを学習するとともに、身近な生活の中で実践できるリサイクル活動を推進する。</p> <p>（２）地球環境問題に関する活動</p> <p>①節電・節水など省エネ活動に努める。</p>	A
村上小学校	環境学習の実施	◆出前授業（LIXIL）を行い、水の保全と環境保護について学ぶ。	A
村上東小学校	「まが玉の里」「なかよし広場」を整備、充実させ、子どもたちの感性をはぐくむ	<p>年間を通して</p> <p>（１）「まが玉池」周辺（まが玉の里）の整備</p> <p>①水中小動物や植物の豊かな環境をつくり、児童の体験活動を推進する。</p> <p>②米作り活動の展開</p> <p>（２）「なかよし広場」の整備</p> <p>①ウサギ小屋での飼育、ふれあい活動の充実</p> <p>②水路の環境改善</p> <p>（３）地球環境問題に関する活動</p> <p>①節電・節水など省エネ活動に努める。</p>	A
大和田西小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討	◆年間を通して、社会科や総合的な学習の時間において、廃棄物処理にかかわる社会参画の在り方、環境サイクルを考えた自然保護や社会生活の実現に向けた考え方について、知識の習得や体験型の学習を実施する。	A
村上北小学校	環境活動の啓蒙	◆校内での環境活動（節電・節水・用紙のリサイクル・紙類やインク等の節約）の啓蒙を図る。	B
新木戸小学校	こまめに節電・節水に努める	<p>◆児童の下校後は、廊下や特別教室の節電に努める。</p> <p>◆水泳学習は、近接学年を上手に組み合わせ、水の入替えを極力減らす。</p>	A
	廃棄物削減に向けた周知情報共有	◆ミニ研修会を行い、職員への周知徹底化を図る。	A
	資料の電子化を図る。印刷用紙の裏面の再利用を図る。	<p>◆校務データベースにデータを保存し、共有化を図る。</p> <p>◆印刷用紙の裏面の再利用化を図る。</p>	A
萱田小学校	環境学習及び環境教育の推進	<p>◆児童会を中心とした節電・節水を年間通して呼び掛ける。</p> <p>◆「総合的な学習の時間」において、環境について児童が調べ、考えることで環境に対する態度を養う。</p>	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
萱田南小学校	環境学習の実施	<ul style="list-style-type: none"> ◆4年生社会「ごみのしゅりと利用」の学習（9～10月） ◆5年生社会「環境を守るわたしたち」の学習（2～3月） ◆福祉委員会によるリサイクル活動の推進（通年） 	B
みどりが丘小学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもたちが保護者会のリサイクル活動とタイアップしてのリサイクル回収を行う中で環境について考えさせる機会を設ける。 ◆社会科や総合等の授業の中で環境についての知識を深めさせる。 	A
八千代中学校	配布部数の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料や文書は必要部数だけ印刷し、予備は印刷しない。 ◆職員への配布資料はできるだけ裏紙を使う。 	B
睦中学校	環境学習に取り組む	◆地域と連携した清掃活動に取り組み、総合の授業等で環境問題について考える。	A
阿蘇中学校	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ◆それぞれの教科において、環境について学習を行う際に「自分たちに何ができるか」を考えさせることで、身近な問題としてとらえさせ、活動につなげていく。 ◆福祉活動として「クリーン&あいさつ運動」を実施する。 ◆「募キャップ活動」を通して、全校生徒に環境について関心を持ってもらい、考えさせる機会を設ける。 	B
	節水・節電に取り組む	◆教室を空ける際には必ず消灯すること、清掃や給水時には蛇口をこまめに閉めることを生徒・職員に徹底する。	B
勝田台中学校	環境教育の推進	◆地域連携活動、小中連携活動の一環として、環境をテーマにした活動を推進するにあたり、事前学習を実施する。	B
	ごみの分別や環境保全活動の周知	◆地域連携活動、小中連携活動の一環として、環境をテーマとした活動を推進する。	B
大和田中学校	ふるさと祭り後のボランティア清掃	◆1学期から、清掃リーダーを中心に呼び掛け活動を行う。	A
	小学校と協力して段ボールの回収	◆再利用可能なものは分別するよう生徒職員に呼び掛け、分別の徹底をさせる。	A
	ボトルキャップの回収	◆生徒だけでなく、地域にも呼び掛けを行う。	A
高津中学校	教育活動を通して環境学習の実施・普及	◆教育活動全体を通して、環境学習を推進する。特に、理科、技術・家庭科の強化を中心に行う。	A
	節電・節水に取り組む	◆学期ごとの目標を決め、職員の周知だけでなく、生徒の活動も巻き込んで取り組む。	A
八千代台西中学校	環境学習・環境教育の新しい機会の検討	<ul style="list-style-type: none"> ◆日々の清掃活動を行う中で生徒たちに環境について考えさせる機会を設ける。 ◆授業の中で環境についての知識を深め、各自の考えをまとめて話し合い、環境問題への関心を高める。 	B
村上東中学校	環境教育の推進	◆生徒会活動を中心にPTAの協力も得て進めてきた環境学習について、年間を通して、ペットボトルキャップ、テトラパック、資源ごみの回収を行い、生徒集会や学活で回収の意義について話し合い、回収量の報告を通して、環境に対する意識の高揚を図る活動を継続することにより環境教育を推進する。	A
東高津中学校	環境教育の推進	◆社会科や技術家庭科・道徳を核として、授業の中で環境についての知識を深めさせる。	B
	地域清掃活動への参加	◆清掃やボランティア活動を通して、生徒たちに美化を含めた環境について考えさせる機会を設ける。	B
村上中学校	節電・節水 地域環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒会を中心に校内の節電、節水の呼び掛けを行う。 ◆村上地区の地域環境についてアンケートを実施し、中学生として取り組める内容を明確にし、自治会や地域の関係機関と連携を図っていく。 	A

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
萱田中学校	環境教育の推進	◆理科や社会科の授業での環境教育を充実させると共に、日常の指導の中でも環境への意識付けを図っていく。	A
	地域クリーン活動への参加	◆5月に実施される地域のゴミゼロ運動に、部活動単位で参加する。また、地域の清掃と学校美化活動を通して環境への意識を高める。	A
学務課	市内小中学校における光熱水費の削減	◆市内小中学校の管理を所轄する教育総務課と連携して、校長会議、教頭会議等において光熱水費の削減を積極的に働きかけるとともに、残業時間縮減を働きかける。	C
少年自然の家	節電・節水等呼び掛け	◆施設を利用される際に、利用者に対し、口頭あるいは掲示物等で節電・節水を呼び掛けると共に、不要な電気が点灯していないか等を職員がこまめに巡回し、確認するよう心掛ける。	B
	給食や野外炊事で排出されるごみの減量	◆施設利用者に対してごみの分別を呼び掛け、リサイクル容器の利用等を促すことにより、ごみ排出量の削減に努める。また、給食の提供に伴う調理の残さや残飯を減らせるように、献立てを工夫し、食べ残しを減らせるよう呼び掛けを行う。	B
	エコドライブ等の実践	◆施設内における枝木や草等の運搬時は、アイドリングの抑制に努める。また、事務連絡における運転時には、急発進や急加速につながらないようなエコドライブを心掛ける。	A
指導課	小中学校の環境教育の充実を図る	◆各学校に環境学習に役立つ国・県・市で行われる研修・講座等の情報提供・周知を行い、環境教育を奨励する。	B
	公用車のエコドライブを推進する	◆事前に最短距離を調べ、急発進、無用な荷物の搭載等燃費の悪くなる使用を周知し、エコドライブの周知・徹底を行う。	B
教育センター	紙の縮減	◆資料の印刷時に、必要数の正確な把握をし、紙の使用を縮減する。	A
	資料の電子化	◆事前に配布できる研修会資料については、電子媒体で配布する。 ◆研修会のレポート集は、各学校へ電子媒体で配布する。	B
	走行量の削減	◆公用車の使用計画を把握し、エコドライブ、移動距離の削減に努める。	A
青少年センター	エコドライブを心掛ける	◆パトロールコースを事前に作成し、エコドライブを心掛ける。	A
適応支援センター フレンド 八千代	紙の購入量の削減	◆毎日の打ち合わせをペーパーレス会議として紙の使用量を減らすことで、紙の購入量を削減する。 ◆年間を通して、ミспリントや支障のない文書については、裏面を再利用する。	A
	節電	◆通所児童生徒に各室退出時の消灯を呼び掛け、職員が消灯を確認する。	B
保健体育課	小中学生に食育指導を行い、生涯にわたり望ましい食生活を送ろうとする態度を養い、残菜の削減に取り組む	◆栄養教諭、学校栄養職員が児童生徒に食育指導を行い、残菜量の削減を目指す。 ◆生産者とタイアップした授業を展開し、食物を大切にすることを身に付け、日々の生活に活かす実践力を身に付けさせる。 ◆栄養教諭、学校栄養職員にこの取り組みを周知し、献立作成など工夫して残菜量の削減の意識を高めさせる。	B
給食センター 西八千代 調理場	学校訪問・試食会等の実施	◆栄養教諭、学校栄養職員による食に関する授業や試食会等を実施し、児童生徒及び保護者に食事の重要性を伝えることにより学校からの給食の残菜量の減少につなげていく。	B
	厨芥ごみの減少	◆下処理での廃棄量、残菜の水分をよく切る等、厨芥ごみの発生を必要最小限に抑える。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
給食センター 村上調理場	学校訪問・試食会等の実施	◆栄養教諭、学校栄養職員による食に関する授業や試食会等を実施し、児童生徒及び保護者に食事の重要性を伝えることにより学校からの給食の残菜量の減少につなげていく。	B
	厨芥ごみの減少	◆下処理での廃棄量、残菜の水分をよく切る等、厨芥ごみの発生を必要最小限に抑える。	A

消防本部

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
消防総務課	消防フェアを通じて、消防への興味や理解を得るとともに、火事や救急の予防、減少に努め、CO ₂ 及び水使用の減少に努める	◆11月3日に開催する消防フェアを周知するため、ポスターやホームページ等に掲載し、来場者数の確保を目指す。	A
中央消防署	火災の被害を軽減させるため、市内小学校の4年生を対象に防火体験を実施し、初期消火の技術を体験させ、火災の拡大を防ぐことによりCO ₂ を削減する	◆市内小学校に防火体験の実施希望調査を行い、年度内に小学校4年生が体験できるよう調整を図り、消火に必要な知識と技術を学ぶとともに消火器で火を消す体験をさせる。なお、平成28年度は市内22校の小学校を対象に合計1,918名の児童が防火体験に参加した。今年度も同様に実施し、火災の被害を軽減しCO ₂ を削減する。	A
	災害出動による医療廃棄物の処理・管理に努め医療廃棄物の排出抑制と処理の適正化により、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る	◆特別管理産業廃棄物管理責任者を選任し、医療廃棄物の処理・保管基準を遵守する。	B
東消防署	火災を減少させ、CO ₂ の削減を目指す	◆年間計画に基づき6月までに消火に必要な知識と技術を習得させて、次世代を担う子ども達への防災意識向上を図る。	A
八千代台分署	市内小学4年生防火体験	◆火災の被害を軽減させるため、市内の小学校4年生を対象に防火体験を実施し、初期消火の技術を習得させ、火災の拡大を防ぐことによりCO ₂ を削減する。	A
睦分署	火災の被害を軽減させるために、市内小学校4年生を対象に防火体験を実施し、初期消火の技術を習得させ、大きな火災になることを防ぎ、CO ₂ を削減する。	◆火災の被害を軽減させるためにも、市内の小学校4年生の全児童に防火体験の実施希望調査をする。さらに年度内に防火体験ができるように調整を図り、消火に必要な知識と技術を学ぶとともに、水消火器を使用し火を消す疑似体験を実施する。	A
勝田台分署	火災の被害を軽減させるために、市内小学校4年生の全児童を対象に防火体験を実施し、初期消火の技術を習得させ、大きな火災になる事を防ぐことによりCO ₂ を削減させる。	◆市内小学校4年生の全児童に防火体験の実施希望調査をし、年度内に防火体験ができるように調整を図り、消火に必要な知識と技術を学ぶとともに、水消火器を使用し火を消す疑似体験を実施させる。	A
予防課	危険施設における危険物漏洩事故防止	◆危険物施設を保有する事業所に対し、危険物安全週間等に講習会を開催して、日ごろの定期点検及び日常点検等の必要性について周知徹底を図る。また、危険物施設に立入検査を実施し、適正管理について指導するなど、危険物事故防止を図ることで、環境汚染の軽減につなげる。	A
警防課	廃棄量の削減に向けた周知	◆救命講習、広報紙、市のホームページ等による広報活動により、市民への救急車の適正利用を呼び掛け、不要不急の利用を減らすことにより、CO ₂ 及び感染性廃棄物の削減を図る。	C
	エコドライブの徹底	◆消防団員にエコドライブの徹底を周知し、燃料使用量の削減を図る。	B

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
指令課	現場到着時間の短縮	◆平成 19 年度から高機能消防指令センターの導入により、災害現場に一番近い車両が自動選別されるシステムを運用し、災害現場の直近車両が出場する事で現場到着時間の短縮と燃料の節約になり、CO ₂ 排出の削減を図る。	A

上下水道局

所 属	環境目標	目標達成に向けた取組み	評価
経営企画課	低公害車（ハイブリッドカー）の有効活用	◆事業管理者用の低公害車について、上下水道局内の他課や本庁への貸し出しを行い、有効活用を図る。	A
給排水相談課	下水道整備の推進	◆水洗化の促進及び啓発を図り、下水道整備区域内の未接続世帯への早期着工を呼び掛けることで適正な排水設備の執行を促し、環境への負荷軽減を図る。	A
	排出ガスを削減する	◆現場業務の際に可能な限り最短距離で現場に向かい、排出ガスの削減を図る。	B
上水道課	配水管の耐震化の促進	◆漏水の恐れがある老朽化した配水管の更新を行い、耐震化を促進する。	A
	節水意識の向上	◆児童、生徒を対象に浄水場見学の実施等の啓発活動を行う。	A
	他企業の工事による水道管の破損に伴う漏水の未然防止	◆各企業、工事業者に対して協議書の提出を促し、上水道課からは正確な情報提供と指導を行い、原因者漏水の発生を未然に防ぐよう努める。	A
下水道課	汚水第 2 中継ポンプ場の水道使用量の削減	◆汚水中継ポンプ場にある機械設備について、点検等適正な維持管理及び運転を行うことで、必要な水道の使用量を抑える。	A
村上給水場	浄水場の維持管理に努める	◆老朽化した設備の補修・修繕を行う。	A